

VVAULT[®] PGB 設定マニュアル

Setting Manual for VVAULT PGB 1.5

1	インストール	5
2	管理コンソールのアクセス	15
3	システム設定	19
4	バックアップ設定	23
5	DBの復元	33
6	障害の解決方法	39

はじめに

本文書のご利用にあたって

- 本文書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き禁止されています。
- 本文書で使用している情報及び画像は本文書執筆時点のもので、最新版の製品および製品サイトと文言やデザイン等が異なる場合があります。
- 本文書内の社名、製品名は各社の商標又は登録商標です。

目次

1	インストール	5
1-1	インストール前の準備	6
1-2	インストール	7
1-3	アップデート	10
1-4	アンインストール	12
2	管理コンソールのアクセス	15
2-1	管理コンソールの起動	16
2-2	基本構成と各部の役割	17
3	システム設定	19
3-1	各部の名称と役割	20
4	バックアップ設定	23
4-1	バックアップについて	24
4-2	各部の名称と役割	26
4-3	バックアップ設定の追加	29
4-4	バックアップの手動実行と中止	31
5	DBの復元	33
5-1	DBの復元(VVAULT)	34
5-2	DBの復元(その他)	36
5-3	DBの復元に失敗する場合	37
5-4	DBの復元後の設定	38
6	障害の解決方法	39

1 インストール

Setting Manual for VVAULT PGB 1.5

1-1 インストール前の準備	6
1-2 インストール	7
1-3 アップデート	10
1-4 アンインストール	12

1-1 インストール前の準備

■ 動作環境の確認

CPU	Intel x86 / x64 互換プロセッサ (Xeon E3 以上推奨)
対応OS	SERVER OS Windows Server 2022 (64bit) Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) PC OS Windows 10 (64bit)
メモリ	1GB 以上 (2GB 以上推奨)
ディスク容量	500MB 以上の空き容量 (インストール時)
必要ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 4.5
対応環境	PostgreSQL 10 以上 (VVAULTのデータベースをバックアップする場合はVVAULT 9 以上に対応)

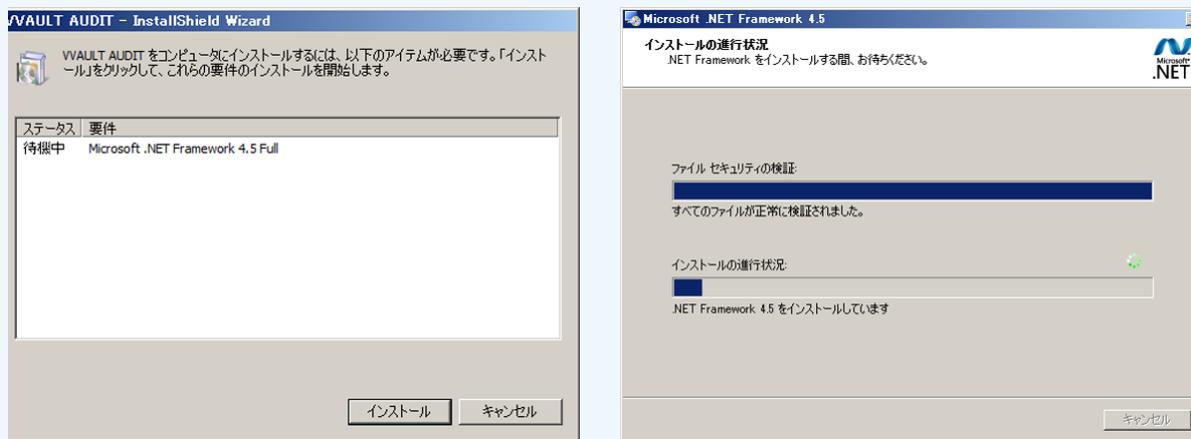
1-2 インストール

本製品のインストーラーを製品サイト (<http://vvault.jp/download/>) からダウンロードし、実行してください。

🔍 Microsoft.NET Framework 4.5 について

インストール手順①でインストーラーを実行した際、「Microsoft .NET Framework 4.5」がインストールされていない環境では、以下の画面が表示されます。本製品の動作に必要なソフトウェアの為、ウィザードに従ってインストールしてください。

※インストール後は再起動が必要になる場合があります。



尚、ネットワークに接続できない環境でのご利用の場合は、以下の URL より別途インストーラーをダウンロードして、インストールしてください。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30653>

手順解説

① 本製品の最新版のインストーラーを実行します。



ご注意

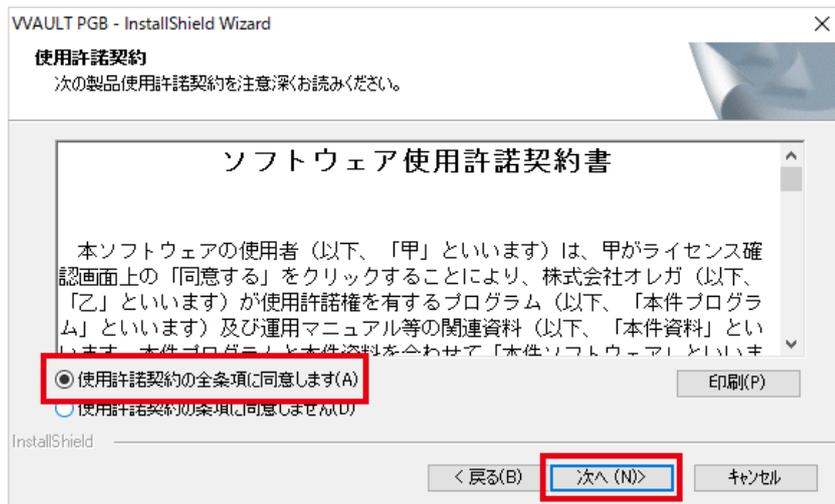
UAC が有効の場合、インストーラーは管理者権限で実行してください。

またドメインメンバーのコンピューターにインストールする場合は、ローカルの管理者アカウントでログインしてから実行してください。

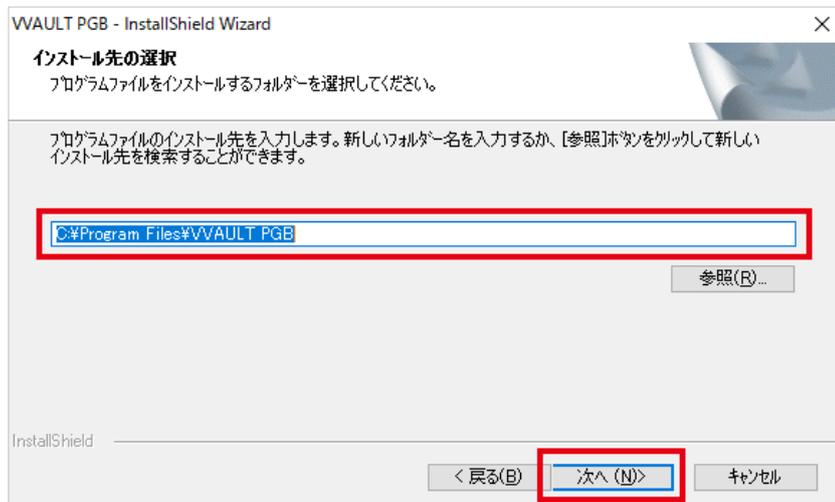
- ② インストーラーのウィザード開始画面にて「次へ」ボタンをクリックします。



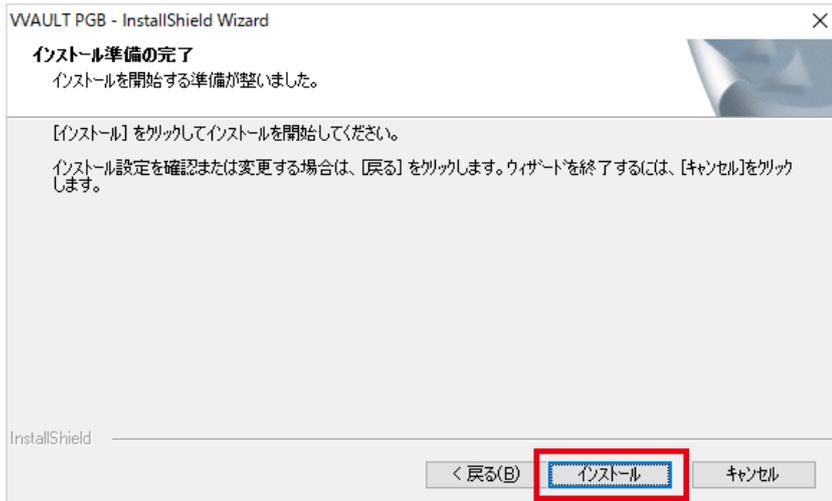
- ③ 使用許諾契約を確認後、「使用許諾契約の全条項に同意します (A)」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



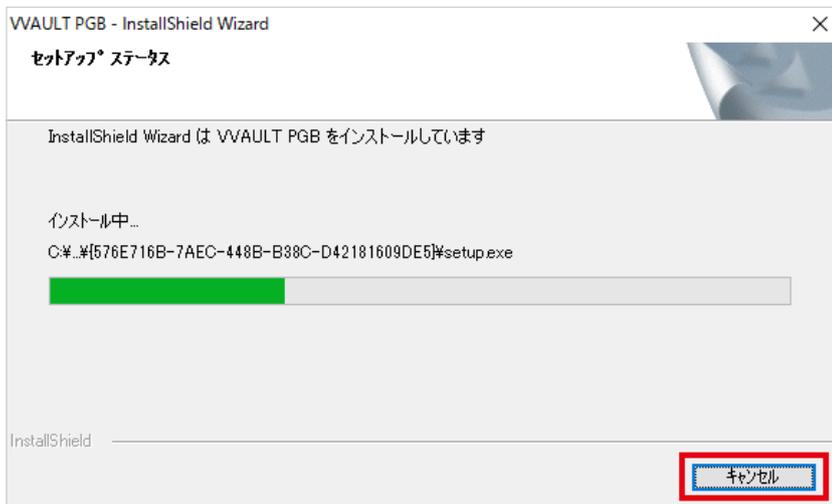
- ④ プログラムのインストール先を指定し「次へ」ボタンをクリックします。



⑤ 「インストール」 ボタンをクリックします。



⑥ インストールが開始されます。



⑦ 「完了」 ボタンをクリックするとインストールが完了します。



1-3 アップデート

本製品をアップデートするには、製品サイト (<http://vvault.jp/download/>)から最新版のインストーラーをダウンロードし、実行してください。

手順解説

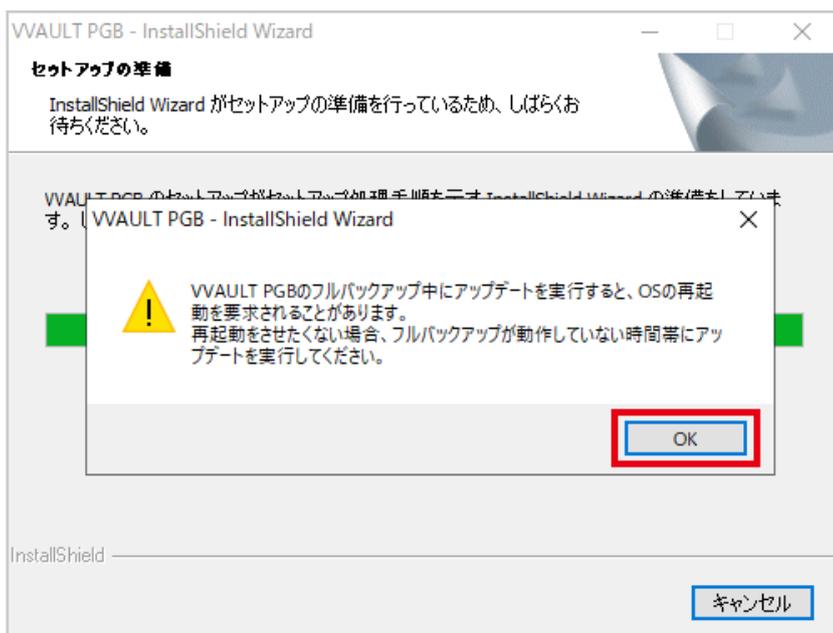
① 本製品の最新版のインストーラーを実行します。



ご注意

UAC が有効の場合、インストーラーは管理者権限で実行してください。
またドメインメンバーのコンピューターにインストールする場合は、ローカルの管理者アカウントでログインしてから実行してください。

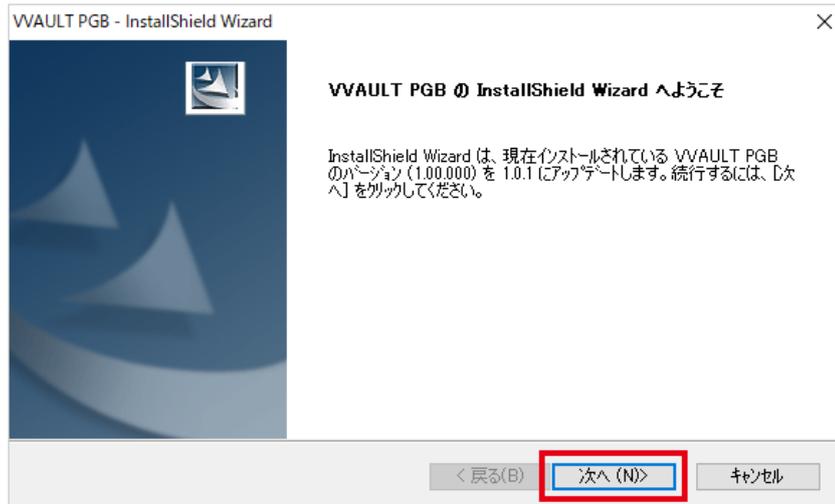
② 「OK」ボタンをクリックします。



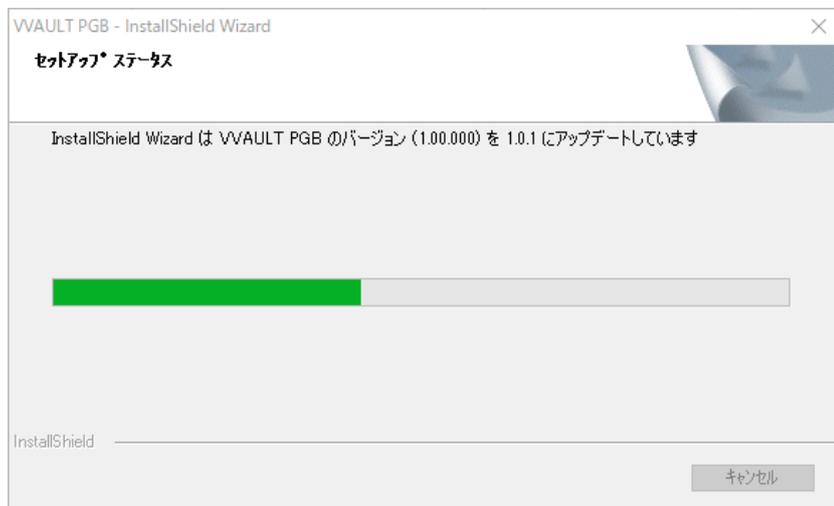
ご注意

フルバックアップ中にアップデートを実行すると、OSの再起動を要求されることがあります。
再起動させたくない場合、フルバックアップが動作していない時間帯にアップデートを実行してください。

③ インストーラーのウィザード開始画面にて「次へ」ボタンをクリックします。



④ アップデートが開始されます。



⑤ 「完了」ボタンをクリックするとアップデートが完了します。

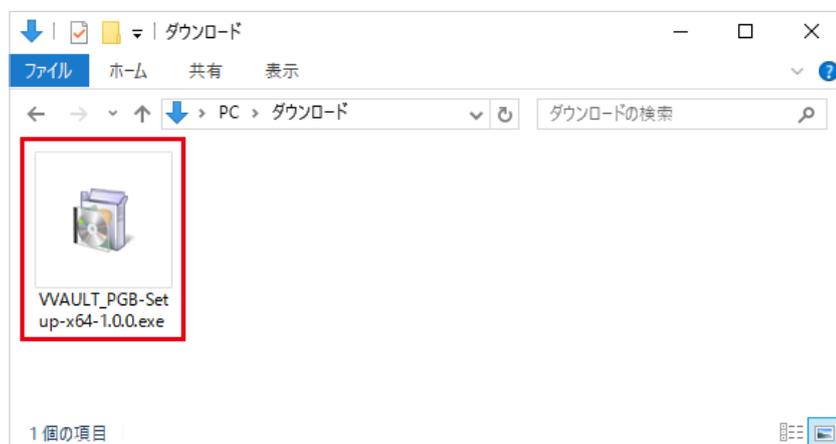


1-4 アンインストール

本製品をアンインストールするには、以下の手順に従ってください。

手順解説

- ① インストールされているVVAULT PGBと同じバージョンのインストーラーを実行します。



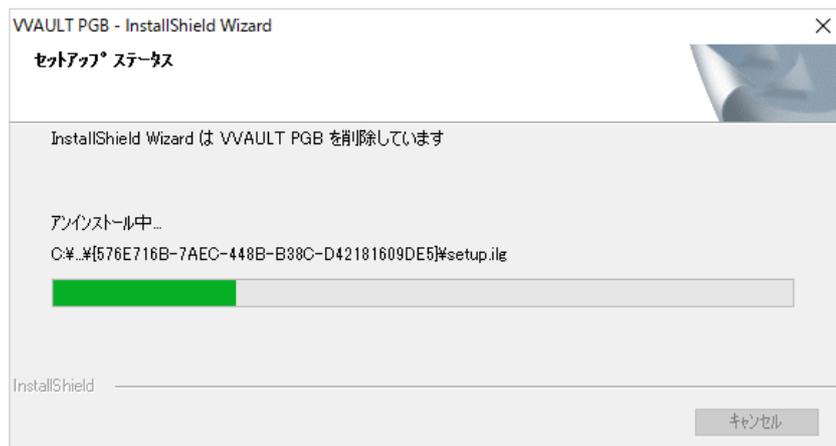
ワンポイント

インストールに使用したインストーラーが無い場合は、コントロールパネルの「プログラムと機能」からVVAULT PGBを右クリックしてアンインストーラーを起動することができます。尚「プログラムと機能」と同等の機能はOSによって名称や操作が異なります。

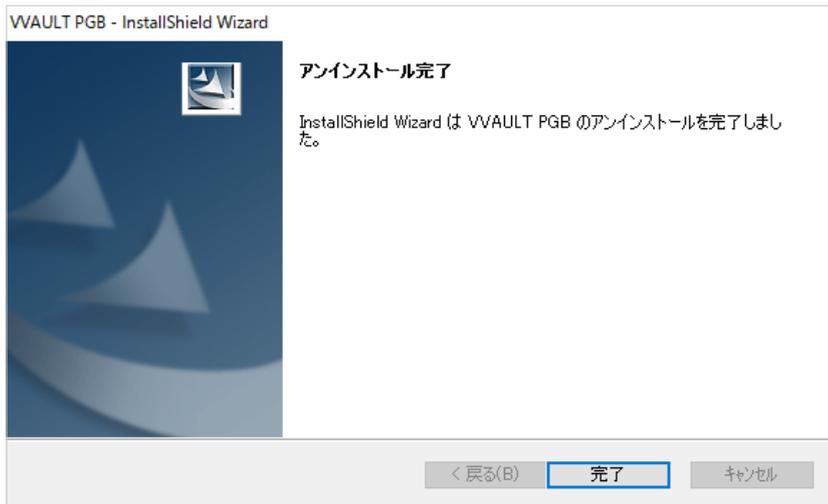
- ② 以下のダイアログが表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。



- ③ アンインストールが開始されます。



④ 「完了」ボタンをクリックしアンインストールを完了させます。



2 管理コンソールのアクセス

Setting Manual for VVAULT PGB 1.5

2-1 管理コンソールの起動—————16

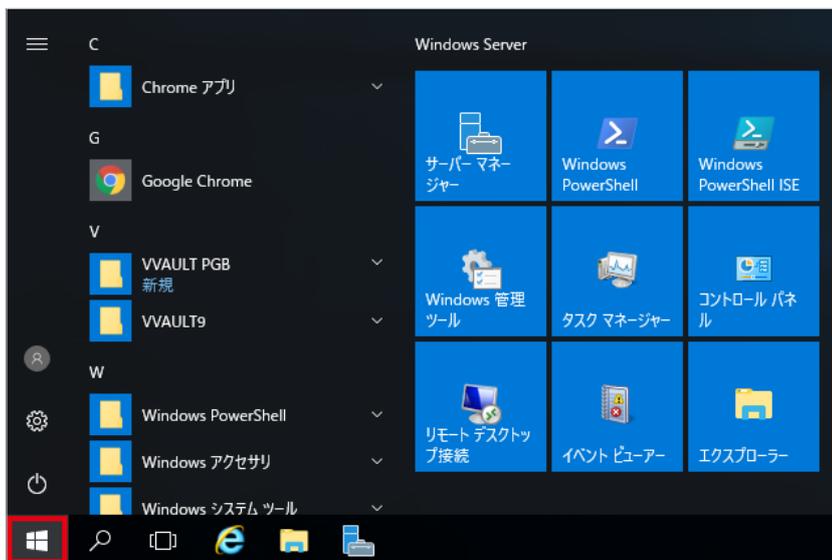
2-2 基本構成と各部の役割—————17

2-1 管理コンソールの起動

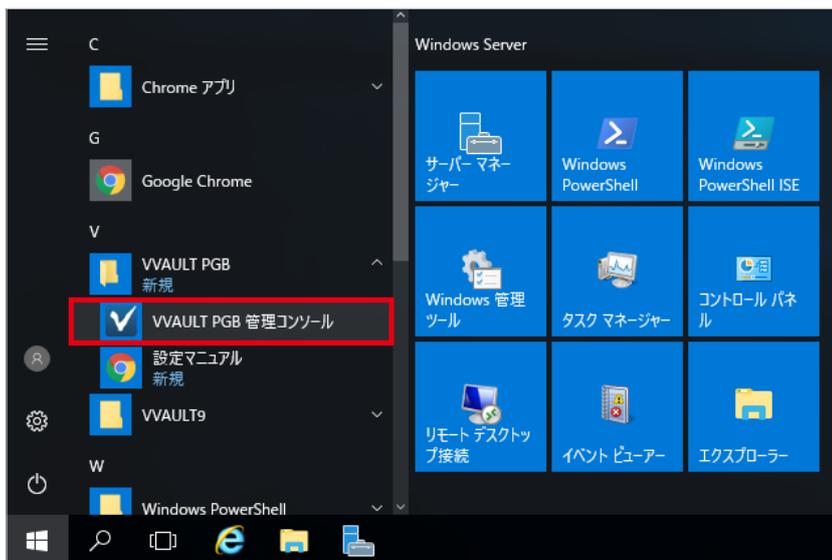
本製品の管理コンソールを起動するには以下の手順に従ってください。

手順解説

① 「スタートメニュー」を開きます。



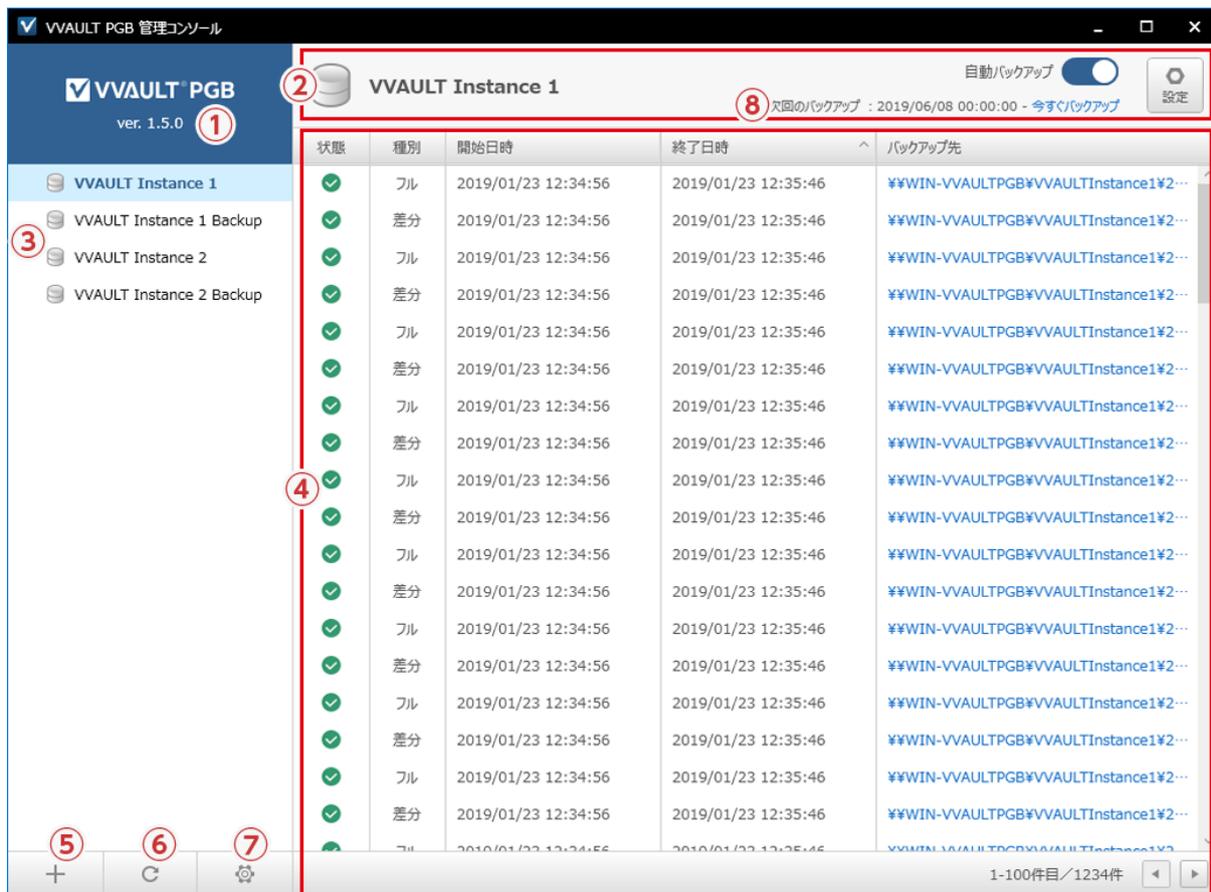
② 「VVAULT PGB」を開き、「VVAULT PGB 管理コンソール」をクリックすると、アプリケーションが起動します。



2-2 基本構成と各部の役割

VVAULT PGB 管理コンソールの基本画面です。

管理コンソール画面



名称と役割

① VVAULT PGB バージョン

VVAULT PGB のバージョンを表示します。

② ヘッダー

バックアップ設定の内容を表示・操作するエリアです。

自動バックアップ：OFFにした場合、フルバックアップ・差分バックアップ共に実行されなくなります。

【重要】差分バックアップ実行中にOFFにした場合、差分データが破損するおそれがあります。この場合「5-3 DBの復元に失敗する場合 (P.37)」の処理を行って下さい。

設定：「4 バックアップ設定 (P.23 ~)」を参照して下さい。

今すぐバックアップ：フルバックアップを即座に開始します。

※自動バックアップがOFFの場合でもフルバックアップを実行しますが、その後の差分バックアップは実行されません。

③ サイドバー

バックアップ設定の一覧を表示します。

④ バックアップ履歴

③で選択したバックアップ設定の実行履歴を表示します。

※差分バックアップのバックアップ先はファイル名のみが表示されていますが、ソートはフルパスで行われます。
このエリアに表示されている内容は以下の操作を行ったときにのみ最新の状態に更新されます。

- ・ ③で現在選択しているものとは違うDBを選択した
- ・ ⑥ボタンを押した

※ソート順の変更やページの切り替えでは最新の状態にはなりませんので注意して下さい。

⑤ [DB追加] ボタン

ボタンをクリックすると、DB追加画面を表示します。

⑥ [最新の情報に更新] ボタン

画面をリフレッシュします。

⑦ [システム設定] ボタン

ボタンをクリックすると、システム設定画面を表示します。

⑧ 次回のバックアップ日時

自動バックアップする日時を表示します。

3 システム設定

Setting Manual for VVAULT PGB 1.5

3-1 各部の名称と役割

通知メールとは、本製品を使用中に発生した事象について、設定されたメールアドレスに対して通知メールを送信する機能です。通知メール機能を利用することで、管理コンソールを開いていなくても、バックアップの完了やエラーの検知を確認することができます。

システム設定ウィンドウ メール通知画面

システム設定

メール通知 | 履歴管理

管理者用メールアドレス
① aro@vvault.co.jp,jiro@vvault.co.jp

送信設定

送信元メールアドレス
② dmin@vvault.co.jp

送信用メールサーバー

③ SMTPサーバー : smtp.vvault.co.jp

④ ユーザーID : user@vvault.co.jp

⑤ パスワード : ●●●●●●●●

⑥ ポート番号 : 25

⑦ 保護された接続 : 使用しない SSLを使用 (STARTTLS)

⑧ 送信テスト | ⑨ 保存 | ⑩ キャンセル

名称と役割

- ① 管理者用メールアドレス
管理者用メールアドレスを入力します。複数の送信先を指定する場合は、セミコロンまたはカンマ区切りで入力してください。
- ② 送信元メールアドレス
通知メールの送信元メールアドレスを入力します。
- ③ SMTP サーバー
SMTP サーバー名を入力します。
- ④ ユーザー ID
SMTP サーバーへの接続に使用するユーザー ID を入力します。

-
- ⑤ パスワード
SMTPサーバーへの接続に使用するパスワードを入力します。
-
- ⑥ ポート番号
SMTPのポート番号を入力します。未入力の場合は25番ポートが使用されます。
-
- ⑦ 保護された接続
SMTPサーバーへの接続方法を選択します。
-
- ⑧ [送信テスト]ボタン
入力されている設定値で送信テストを行います。
-
- ⑨ [保存]ボタン
入力されている設定値を保存してシステム設定画面を閉じます。
-
- ⑩ [キャンセル]ボタン
入力されている設定値は保存せずにシステム設定画面を閉じます。
-

システム設定ウィンドウ 履歴管理画面

名称と役割

- ① バックアップ履歴保存
バックアップ履歴を保存しておく日数を入力します。
-

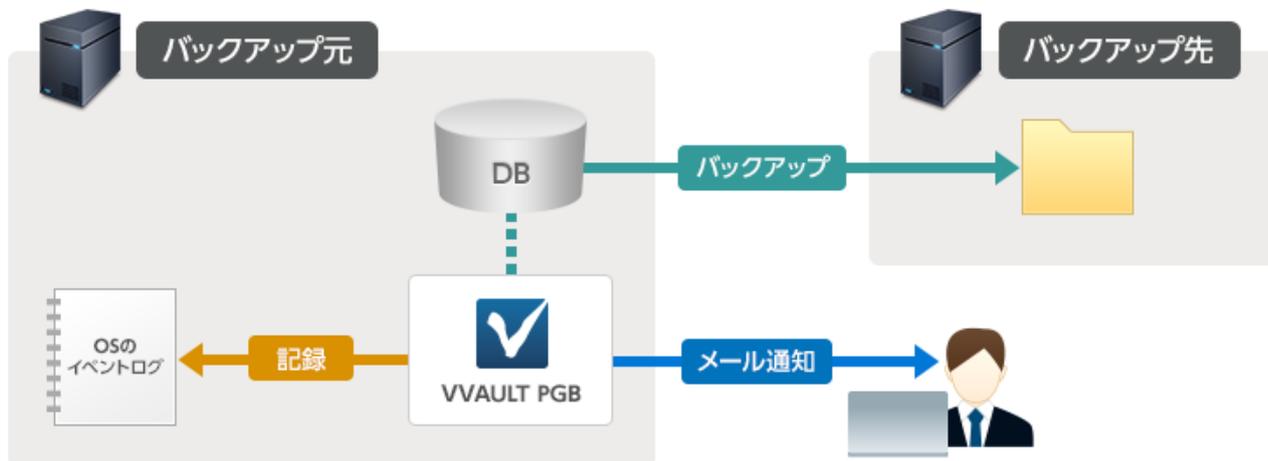
4 バックアップ設定

Setting Manual for VVAULT PGB 1.5

4-1	バックアップについて	24
4-2	各部の名称と役割	26
4-3	バックアップ設定の追加	29
4-4	バックアップの手動実行と中止	31

4-1 バックアップについて

本製品では、PostgreSQLで動作するデータベース（以下 DB）を指定した時間にローカルストレージやネットワークストレージにバックアップします。



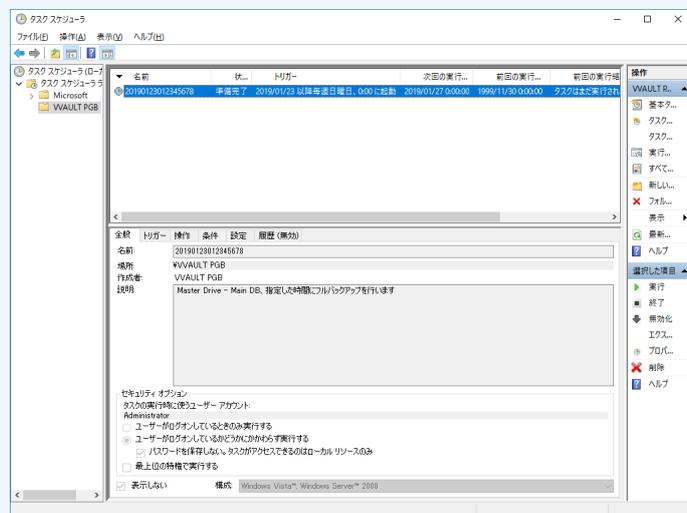
本製品では、PostgreSQLの持つバックアップ機能（pg_basebackup）を利用してバックアップを取得します。PostgreSQLのバックアップ機能の詳細については、PostgreSQLのドキュメントを参照してください。

<https://www.postgresql.org/docs/>

バックアップのスケジュールについて

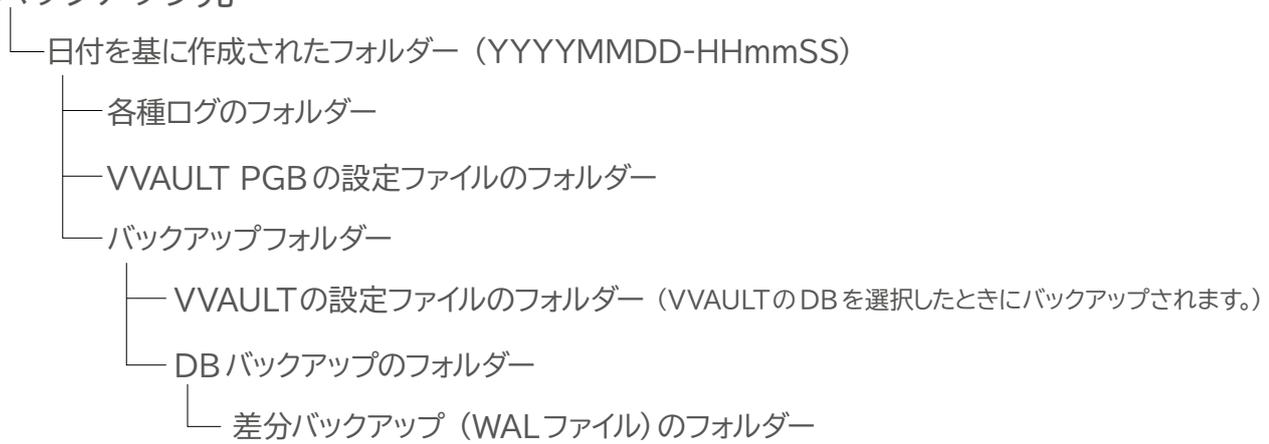
管理コンソールで登録したバックアップ設定はタスクスケジューラのタスクとして設定され、指定した曜日、時間にDBをバックアップします。

また、管理コンソール上からは、任意のタイミングでDBをバックアップすることが可能です。



バックアップ先に保存されるフォルダーの構成は以下の通りです。

バックアップ先



4-2 各部の名称と役割

バックアップするデータベース（以下DB）の設定を行う画面です。

DB 設定編集ウィンドウ

DB設定編集

表示名

1 VVAULT Instance 1

DBインストール先

2 C:%Program Files%VVAULT%pgsql

バックアップ元

3 VVAULTのDB

4 C:%Program Files%VVAULT9_INSTAN

5 DB認証用ユーザーID

6 DB認証用パスワード

7 ポストコマンドを入力してください（任意）

バックアップ先

8 ネットワークストレージ

9 %WIN-VVAULTPGB%VVAULTInstano

10 接続にユーザー名とパスワードを使用する

11 WIN-VVAULTPGB%Administrator

12

フルバックアップ

13 毎日 14 00:00 世代数 : 1 15

16 速度制限をする 17 500 KB/sec 18 以下

差分バックアップ

19 差分バックアップを実施する

通知

20 通知先

OSのイベントログ 管理者用メールアドレス 指定メールアドレス

saburo@vvault.co.jp,shiro@vvault.co.jp

21 通知タイミング

エラー検出時 フルバックアップ完了時 差分バックアップ完了時

22 削除

23 保存

キャンセル

24

名称と役割

① 表示名

設定するDBを識別するための名前を入力します。

この項目で設定した名前は、メイン画面の表示名になるほか、タスクスケジューラに登録するタスクの説明欄に記載されます。この項目に入力する表示名は他のDB設定で入力している同項目の表示名と重複不可です。

② DBインストール先

本製品はPostgreSQLの標準機能を使ってバックアップを実現しています。

PostgreSQLがインストールされているフォルダーを入力してください。

(VVAULTのDBの場合の例) C:¥Program Files¥VVAULT¥pgsql

③ DBの種類

バックアップ元のDBの種類を選択します。

④ バックアップ元のDBの場所

バックアップ元のDBのパスを入力します。

※この項目に入力するパスは必ず「pg_hba.conf」のある場所を指定してください。

(VVAULTのDBの場合の例) C:¥Program Files¥VVAULT¥VVAULTData

⑤ DB認証用のユーザー ID

③で「その他のDB」を選択した場合は、DBへの接続認証で使用するユーザー IDを入力してください。

⑥ DB認証用のパスワード

③で「その他のDB」を選択した場合は、DBへの接続認証で使用するパスワードを入力してください。

⑦ ポストコマンド

設定したいポストコマンドがある場合、実行コマンドを入力してください。

改行で区切るにより複数のコマンドを入力できます。

⑧ ストレージの種類

バックアップ先のストレージの種類を選択します。

⑨ ストレージの場所

バックアップ先のストレージのパスを入力します。

この項目に入力するパスは他のDB設定で入力している同項目のパスと重複不可です。

(ネットワークストレージの例) ¥¥192.168.10.133¥VVAULT_DB

⑩ 接続にユーザー名とパスワードを使用する

⑧の項目で「ネットワークストレージ」を選択した場合は、そのフォルダーへの接続認証で使用するユーザーについての情報を⑩と⑫に入力してください。

※チェックがOFFの場合、「Guest」が指定されたものとして処理を実行します。

⑪ ネットワーク認証用のユーザー ID

⑧の項目で「ネットワークストレージ」を選択した場合は、そのフォルダーへの接続認証で使用するユーザー IDを入力してください。

※空欄の場合、⑩のチェックでOFFが指定されたものとして処理を実行します。

⑫ ネットワーク認証用のパスワード

⑧の項目で「ネットワークストレージ」を選択した場合は、そのフォルダーへの接続認証で使用するパスワードを入力してください。

⑬ フルバックアップを行う曜日

DBバックアップを実行させたい曜日を選択します。

この項目で選択した曜日がタスクスケジューラに登録されます。

⑭ フルバックアップを行う時間

DBバックアップを実行させたい時間を選択します。

この項目で選択した時間がタスクスケジューラに登録されます。

⑮ 世代数

保持させたいバックアップの世代数を入力します。

バックアップ時に世代数を越えたバックアップデータがあると自動的に削除されていきます。

⑯ フルバックアップのデータ転送速度を制限する

フルバックアップのデータ転送速度に上限を設けることが出来ます。

※チェックがOFFの場合、⑰と⑱の設定は無視されます。

⑰ データ転送速度制限値（数値）

この値を上限として1秒あたりのデータの転送速度が制限されます。

※設定できる値は32KB/secから1024MB/secまでの間です。

⑱ データ転送速度制限値（単位）

⑰の数値に対する単位を指定してください。

⑲ 差分バックアップ

PostgreSQLの差分バックアップ機能の利用の有無を選択します。

DBのデータに一定量の変化がある度に差分ファイルのバックアップが随時実施されます。

この設定を有効にした場合、`postgresql.conf`に対して次の設定が追加されます。

`archive_mode`

`archive_command`

無効にした場合、上記設定を削除の上、DBサービスを再起動する必要があります。

※DB設定を削除した場合にも、この設定を削除する必要があります。

⑳ 通知先

バックアップの結果をお知らせする通知先を指定します。

- ・OSのイベントログ……………Windowsのイベントログに記録されます
- ・管理者メールアドレス……………システム設定で指定された管理者メールアドレス
- ・指定メールアドレス……………下のテキストフィールドに指定されたメールアドレス

㉑ 通知タイミング

バックアップの結果をお知らせする通知のタイミングを指定します。

- ・エラー検出時……………バックアップが失敗した場合に⑳で指定された通知先に通知します
- ・フルバックアップ完了時……………フルバックアップが完了した場合に⑳で指定された通知先に通知します
- ・差分バックアップ完了時……………差分バックアップが完了した場合に⑳で指定された通知先に通知します

㉒ [削除] ボタン

表示しているDB設定を削除します。

※DB設定が未保存の場合、このボタンは表示されません

㉓ [保存] ボタン

入力されている設定値を保存してDB追加/DB設定編集画面を閉じます。

㉔ [キャンセル] ボタン

入力されている設定値を保存せずにDB追加/DB設定編集画面を閉じます。

ワンポイント

データベースの運用状況によっては差分バックアップ(WALファイル)の総量が著しく増大することがありますので、差分バックアップを有効にする場合はバックアップ先のディスク容量に注意が必要です。

4-3 バックアップ設定の追加

バックアップ設定を追加する手順を説明します。

手順解説

- ① 管理コンソールのDB設定追加ボタンを押下するとDB追加画面が表示されます。



- ② DB追加画面に必要事項を入力します。

The screenshot shows the 'DB追加' (Add DB) configuration form. The form is divided into several sections:

- 表示名** (Display Name): A text input field containing 'VVAULT Instance 1'.
- DBインストール先** (DB Install Path): A text input field containing 'C:\Program Files\VVAULT\pgsql'.
- バックアップ元** (Backup Source) and **バックアップ先** (Backup Destination): Two tabs are visible, both currently inactive.
- 通知** (Notification): A section with several options:
 - 通知先** (Notification Destination): Three checkboxes are checked: 'OSのイベントログ' (OS Event Log), '管理者用メールアドレス' (Administrator Email Address), and '指定メールアドレス' (Specified Email Address). Below these is a text input field containing 'saburo@vvault.co.jp,shiro@vvault.co.jp'.
 - 通知タイミング** (Notification Timing): Three checkboxes are checked: 'エラー検出時' (When Error is Detected), 'フルバックアップ完了時' (When Full Backup is Completed), and '差分バックアップ完了時' (When Differential Backup is Completed).

At the bottom of the form, there are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).

③ 保存ボタンを押下します。

DB追加

表示名
VVAULT Instance 1

DBインストール先
C:\Program Files\VVAULT\%name%

OSのイベントログ 管理者用メールアドレス 指定メールアドレス
saburo@vvault.co.jp,shiro@vvault.co.jp

通知タイミング
 エラー検出時 フルバックアップ完了時 差分バックアップ完了時

保存 キャンセル

④ 管理コンソールのサイドバーに設定したバックアップ設定が追加されます。

VVAULT PGB 管理コンソール

VVAULT PGB ver. 1.5.0

サイドバーの一覧から参照するDBを選択してください

状態	種別	開始日時	終了日時
	VVAULT Instance 1		

⑤ 今すぐバックアップを押下し、バックアップが正常に完了することを確認します。

VVAULT Instance 1

自動バックアップ **今すぐバックアップ** 設定

次のバックアップ : 2019/06/08 00:00:00

状態	種別	開始日時	終了日時	バックアップ先
	フル	2019/01/23 12:34:56	2019/01/23 12:35:46	*WIN-VVAULTPGB*VVAULTInstance1*201...

⑥ 指定したバックアップ先に各種バックアップの入ったフォルダーが作成されることを確認します。

20190123-123456

ファイル ホーム 共有 表示

WVAULT_DB > 20190123-123456 >

名前	更新日時	種類	サイズ
backup	2019/01/23 12:35	ファイル フォルダ	
logs	2019/01/23 12:35	ファイル フォルダ	
settingbackup	2019/01/23 12:35	ファイル フォルダ	

4-4

バックアップの自動実行と中止

バックアップ設定を追加する手順を説明します。

手順解説

① 管理コンソールのサイドバーからDBを選択します。



② 今すぐバックアップを押下します。



③ バックアップが開始されて、実行状態になります。



④ バックアップ中止を押下します。



ワンポイント

バックアップの実行状態はバックアップ設定管理画面のバックアップ実行履歴で確認できます。

問題のあったバックアップのエラー内容詳細については、インストール先 > Settings の各種ログファイルを参照してください。

⑤ バックアップが中止されてエラー状態のアイコンが表示され、ツールチップには「強制停止」と表示されます。



The screenshot shows the VVAULT PGB management console interface. At the top, there is a header for 'VVAULT PGB ver. 1.5.0' and 'VVAULT Instance 1'. Below this is a table with columns: '状態' (Status), '種別' (Type), '開始日時' (Start Time), '終了日時' (End Time), and 'バックアップ先' (Backup Destination). The first row shows a backup job with a red error icon in the status column. A tooltip is visible over the error icon, displaying the text '強制停止しました' (Forced stop). The backup destination is listed as 'WIN-VVAULTPGB\VVAULTInstance1\2019-01-23-12-34-56'.

状態	種別	開始日時	終了日時	バックアップ先
強制停止しました	フル	2019/01/23 12:34:56	2019/01/23 12:35:46	WIN-VVAULTPGB\VVAULTInstance1\2019-01-23-12-34-56

ワンポイント

エラー状態のアイコンが表示されますが、バックアップ中止ボタンにより強制停止した場合は、通知は行われません。

5 DBの復元

Setting Manual for VVAULT PGB 1.5

5-1 DBの復元(VVAULT)	34
5-2 DBの復元(その他)	36
5-3 DBの復元に失敗する場合	37
5-4 DBの復元後の設定	38

5-1 DBの復元(VVAULT)

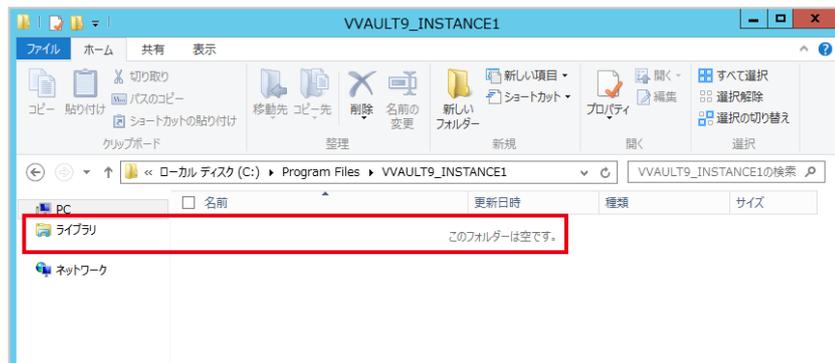
DBの種類がVVAULTのバックアップからVVAULTを再インストールする手順を説明します。
尚、VVAULTのインストール・アンインストールについてはVVAULTのマニュアルを参照して下さい。

手順解説

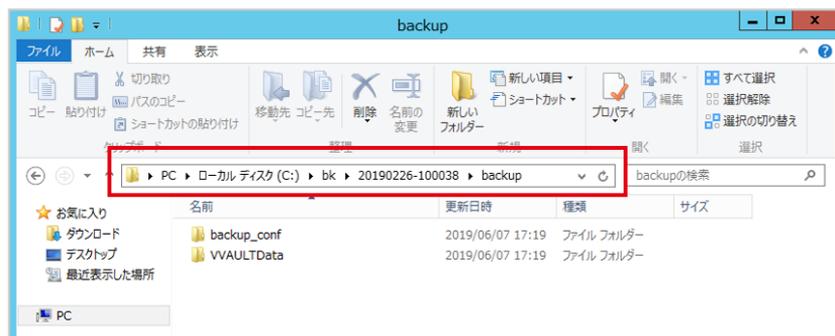
① VVAULTの対象の機能を削除します

※複数の機能がインストールされている状態で、インスタンス1のみ削除することはできません。DBデータを削除せずに全てアンインストールして下さい。

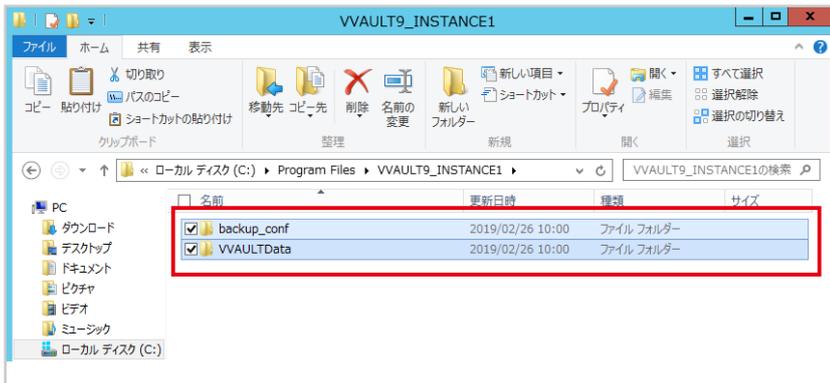
② リカバリ先のフォルダーを作成します。既存のフォルダーを使用する場合、中に入っているファイルまたはフォルダーは全て削除してください。



③ バックアップ先のフォルダーの最新の日付のフォルダーの「backup」フォルダーを開きます。



④ リカバリ先のフォルダーへ「backup」フォルダーの中身をコピーします。



⑤ VVAULTの対象の機能を追加します。DBデータフォルダにはリカバリ先のフォルダーを指定して下さい。
※ VVAULTインストールマニュアルの復元インストールを参照して下さい。

【注意 (VVAUT9.5.4 以前のバージョンをお使いの場合)】

差分バックアップをONにしている場合、VVAULTの復元インストール中に次のエラーが発生します。



このダイアログが表示されたらOKを押さずに待機して下さい。

④でコピーした「~ Data」フォルダを開き、中に入っているrecovery.confファイルが消えたらダイアログのOKを押して機能追加処理を終了して下さい。再度⑤を実行して下さい。

ワンポイント

recovery.confファイルが削除されるまでに掛かる時間は差分バックアップのデータ量に応じて長くなります。

5-2

DBの復元(その他)

DBの種類がその他のバックアップからDBを復元する手順を説明します。

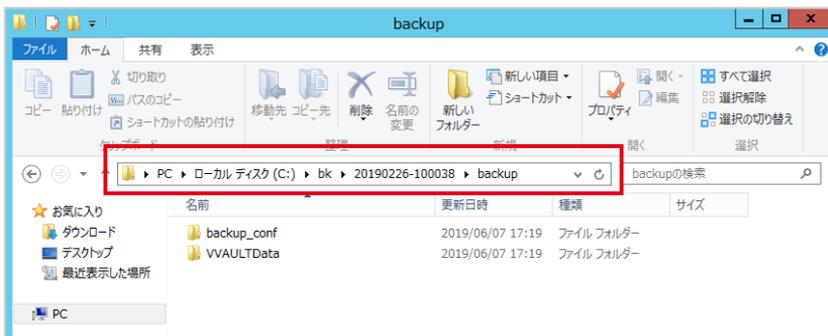
尚、本章にて説明する復元方法は簡便なものです。PostgreSQLの復元方法の詳細については、PostgreSQLのドキュメントを参照してください。

<https://www.postgresql.org/docs/>

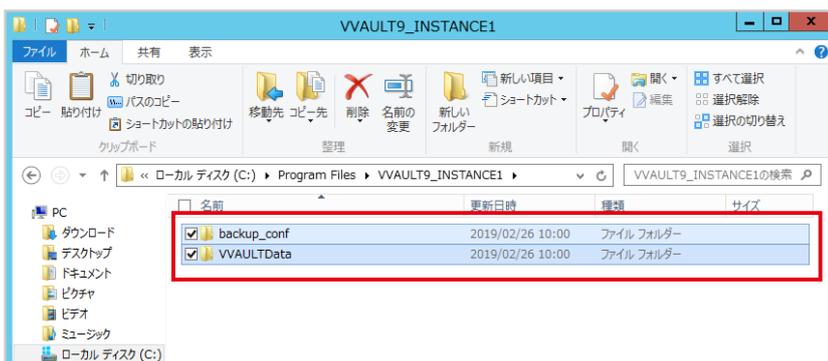
※本ソフトウェアはPostgreSQLのバージョン13.0で動作を確認しています。これ以後のバージョンではリカバリ手順が変更となる可能性がありますのでご注意ください。

手順解説

- ① 対象のPostgreSQLと、これを使用している全てのアプリケーションを停止します。
- ② バックアップ先のフォルダーの最新の日付のフォルダーの「backup」フォルダーを開きます。



- ③ 「backup」フォルダーの中に入っているフォルダーをリカバリ先へコピーします。



- ④ 対象のPostgreSQLのバージョンが12以降の場合、コピーしたフォルダ内のrecovery.confファイルを削除して下さい。
- ⑤ コピーしたフォルダーをデータ保存先に設定してPostgreSQLを起動し、正常に稼働していることを確認します。

※ PostgreSQLの設定と起動・終了につきましては、以下のドキュメントをご参照ください。

<https://www.postgresql.org/docs/>

ワンポイント

差分バックアップを有効にしている場合、PostgreSQLの起動に時間がかかったり、DBが読み取り専用となる場合があります。DBデータ保存先フォルダ内のrecovery.confファイルが消えるまで待機して下さい。

5-3

DBの復元に失敗する場合

差分バックアップを使用している場合、差分ファイルが破損・欠損していると復元を行うことが出来ません。以下の手順で差分バックアップを消去し、フルバックアップ完了時点の状態に戻す必要があります。

手順解説

① コマンドプロンプトを管理者権限で起動します。

② 次の2つのコマンドを実行します。

```
cd "【VVAULTインストールフォルダ】¥pgsql¥bin"
```

```
pg_resetwal.exe -f "【postgre.confファイルが存在しているフォルダ】"
```

5-4

DBの復元後の設定

DBの復元が完了したら、PGBの設定に変更が必要か確認して下さい。

- ・DBインストール先
- ・バックアップ元のDBの場所

VVAULTの復元インストールを実行した場合DBの設定ファイルが初期化されるため、差分バックアップがONの環境ではインストール済みのPGBをそのまま利用するには以下の操作が必要です。

1. 『差分バックアップを実施する』のチェックを外してバックアップ設定を保存する。
2. 『差分バックアップを実施する』をチェックしてバックアップ設定を保存する。
3. DBサービスを再起動する。

また、復元インストールと同時にVVAULTのアップデートを実行した場合、差分ファイルにアップデートの内容が含まれません。必ずフルバックアップを実行して下さい。

6 障害の解決方法

Setting Manual for VVAULT PGB 1.5

バックアップに失敗した場合

バックアップの実行結果は管理コンソールのバックアップ実行履歴で確認できます。

問題のあったバックアップのエラー内容詳細については、インストール先 > Settings の各種ログファイルを参照してください。

バックアップが実行されない場合

本製品では、フルバックアップをWindowsのタスクスケジューラが、差分バックアップをDBサービスが実行される構造になっています。このため、これらの機能に問題が存在すると、各バックアップ処理自体が実行されなくなってしまいます。

以下、代表的な事例と、その対処方法について記載します。

フルバックアップが実行されない

管理者権限を持つアカウントでタスクスケジューラを開き、VVAULT PGBフォルダ内の各タスクについて、以下の点を確認して下さい。

- ・状態が「無効」になっている
 - タスクを右クリックし、『有効』に変更して下さい。
- ・タスクの実行時間にマシンがシャットダウンされた状態になっている
 - マシンを起動した状態にするか、管理コンソールから実行時刻を変更して下さい。

管理者権限を持つアカウントでWindowsのサービス一覧を開き、バックアップ対象のDBサービスについて、以下の点を確認して下さい。

- ・サービスが停止している
 - サービスを起動してください。

差分バックアップが実行されない

管理者権限を持つアカウントでWindowsのサービス一覧を開き、バックアップ対象のDBサービスについて、以下の点を確認して下さい。

- ・サービスが停止している
 - サービスを起動してください。
- ・サービスのログオンアカウントのアクセス権限が足りない
 - ローカルシステムアカウント、もしくは以下の全ての権限を持つアカウントが設定されているか確認してください。
 - ・ VVAULT PGBインストールフォルダ以下のコンテンツに対するフルアクセス権限
 - ・ タスクスケジューラのVVAULT PGBフォルダ内のタスクに対する参照権限

